

北九州市フィジカルA I 共生都市戦略

～フィジカルA Iで、産業を強く、暮らしを豊かに、まちを魅力的に～

1 背景・目的

北九州市の強みである多様な社会実装フィールドを活かし、フィジカルA Iの社会実装を推進します。これにより、日本を代表するフィジカルA I産業クラスターの形成とともに、暮らしの質の向上やまちの魅力向上を実現します。

2 ビジョン

北九州市フィジカルA I 共生都市

フィジカルA Iが産業や、市民生活、まちに広く実装され、人とA I・ロボットが共生する都市

目指す姿

【企業】生産性向上と新産業創出、産業集積

【大学・研究機関】研究成果の社会実装と人材育成

【市民】便利で豊かな暮らしの実現

【まち】文化・交流・観光など新たな都市空間を創出

【行政】社会課題を解決し、モデルを全国へ展開

3 基本戦略

北九州市の勝ち筋

社会実装を起点に、データ・研究開発・事業化・産業集積へとつなげるとともに、市民生活の質の向上とまちの魅力を高めることで、人・企業・投資が集まる「フィジカルA I 共生都市」の実現を目指します。

構築する機能

実証から導入までを伴走する「社会実装推進機能」、供給側と需要側を結び事業化へつなげる「事業化支援機能」、現場データを研究開発や新たなユースケース創出へ循環させる「データ・研究開発機能」、高度人材の育成と市民理解を促進し、共生都市の実現に向けた市民生活やまちづくりを推進する「共生都市形成機能」を一体的に構築します。

4 施策の方向性

① 社会実装を事業化につなげる仕組みの強化

② ロボット・A I・S I e r等の供給基盤の強化

③ 地域における需要創出・市場形成

④ 現場データの蓄積・活用基盤の整備

⑤ A I・ロボティクス人材の確保・育成

⑥ 市民・企業の社会受容性・都市の魅力向上

5 政策パッケージ

① 社会実装（実証含む）

フィジカルA Iサンドボックス、行政・地域産業、まちなかへの導入促進、公共調達、実証フィールド整備、規制緩和、制度・ガバナンス整備、全国展開

② 事業化・産業集積

フィジカルA I社会実装L A B O、企業誘致、スタートアップ支援、オープンイノベーション（参入支援）

③ 研究開発・人材育成

匠プロジェクト、産学官共同研究、データ利活用環境・情報通信基盤整備、高度人材育成・リスキリング

④ 共生都市の形成

フィジカルA Iフレンドリータウン、市民向け体験会・展示会、国内外への情報発信、学校教育での講義

6 推進体制

本戦略は、市が中核的なコーディネータとして、企業や大学等、多様な主体をつなぎ、社会実装を牽引する。また、中心的な機能として「実装フィールドコミッション」を組織し、社会実装を徹底的に伴走支援する。

7 K P I（2030年度末）

① フィジカルA Iの実証件数	100件
② フィジカルA Iの導入企業数	100社
③ ロボット関連産業参入企業数	50社
④ スタートアップ創出件数	20社
⑤ S I e rネットワーク企業売上高	500億円

8 おわりに

フィジカルA Iで、産業を強く、暮らしを豊かに、まちを魅力的に。北九州市は、社会実装を起点に新たな産業と市民生活やまちに新たな価値を創出し、人とフィジカルA Iが共生する未来都市の実現を目指していきます。



フィジカルA I 共生都市 キービジュアル